

「京都こころの未来・文化創造ビジョン」の進捗状況

○進捗状況

ビジョンに掲載した施策はほとんどが予算化され、取り組みを実施

○主な成果

★文化庁の京都への全面的移転が決定（H28.3）

<府民の自発的な文化芸術活動の振興>

- ・「文化力チャレンジ事業」等で府民の自発的な文化芸術活動を応援
- ・古典の日フォーラムや中・高生による古典作品の朗読コンテストなど「古典の日」の普及・定着を推進

<「ほんまもん」の文化芸術の振興>

- ・日本画「こころの京都百選」の府内巡回展を実施（H24～27）
- ・「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産（H25.12）に、「東寺百合文書」が世界記憶遺産（H27.10）に登録
- ・「琳派400年記念祭」を開催し、洗練された美意識、日本のデザインの源流ともいべき「琳派」を国内外に発信（H27）

<文化を未来に伝える次世代の育成>

- ・「文化の知恵袋」を通じ、伝統芸能や美術工芸等の人材を学校等へ派遣し、ほんまもんの文化芸術の体験機会を提供（年間70～80件）
- ・全国高校生の「伝統文化フェスティバル」「茶道フェスティバル」の開催
- ・「京都府新鋭選抜展」等次世代の文化創造を支える取組を推進

<文化力による活気あふれる京都の創出><多様な「みやこ文化圏」>

- ・「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」など地域の文化資源等による新たな観光創造を推進（商工労働観光部ほか）（H27～）
- ・地域の文化活動を推進する文化の仕掛け人や地域アートマネージャーを設置
- ・アーティスト・イン・レジデンス事業「京都：Re-search 芸術祭創生事業」を開始（H28～）

<国際的な文化活動の拡大>

- ・京都初の大規模な国際芸術祭「PARASOPHIA 2015」を開催（H27）

<文化を創造する空間の整備>

- ・「府立京都学・歴彩館」のオープン（H28.12）

<2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた取組>

- ・京都を舞台に行われる文化と芸術の祭典「京都文化力プロジェクト2016-2020」を、国等との共催による国際会議「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」をキックオフにスタート（H28～）